

「肝臓移植希望者（レシピエント）選択基準」について

1. 乳幼児レシピエントについて

- ・ 血液型不適合移植を可能とする場合、年齢は何歳までが適当か。
- ・ 時間的問題はないか。

2. 分割肝移植について

- ・ 現在は第1レシピエント候補の移植施設が分割肝の可否を判断した後に下位のレシピエントに係る施設に分割肝の意思確認を行っている。（参考資料6参照）

3. 肝小腸同時移植について

（1）背景

肝小腸同時移植希望者については、現在、登録者はいないが、今後、改正法施行に伴い、肝小腸同時移植希望の登録者の増加が予想されることから、平成21年12月に開催された、小腸移植の基準等に関する作業班においても、肝小腸同時移植希望者の取り扱いについて、その議論が必要との意見があった。

（2）小腸移植実績

脳死下小腸移植 (1996-2010.9)	9名 (うち生体肝移植既実施者数2名)
生体小腸移植 (1996-2009)	11名 (うち肝小腸同時移植者1名)

臓器移植ネットワーク移植施設会議資料より(2010.6.5)

（3）肝小腸同時移植希望者の取り扱い（案）

① 肝小腸同時移植希望者が肝臓のリストで1位となった場合

小腸リストでの順位にかかわらず、肝臓と小腸を移植する。（但し、小腸レシピエント1位の者が親族優先提供に関わる者の場合はこの限りではない）

② 肝小腸同時移植希望者が小腸リストで1位になった場合

- 1： 親族優先
- 2： 肝臓の医学的緊急度 9点
- 3： 肝臓の医学的緊急度 6点

但し、肝小腸同時移植希望者に関しては小腸適応でstatus1または2の者は肝臓での医学的緊急度を6点とする。

* 緊急度が同点の場合には血液型、待機日数で決定する。